

# しびる

一般社団法人日本建設業連合会 関西支部



●巻頭対談／近畿の未来  
国際都市KANSAIの地盤を築くことこそ、関西復権への鍵！  
**立野 純三氏×岸田 潔氏**

●レポート・最前線  
阪神高速 西船場ジャンクション改築(信濃橋渡り線)  
**都市インフラ再構築の  
未来を担う先駆的工事**

●未来へのとびら  
(土木男子)人間力を伸ばせる仕事です。 新間 翔太さん  
(建築女子)将来は仕上げ工事のプロになる！ 渡辺 彩香さん

●偉人たちの歴史街道  
「道こそ街の動脈」  
**大阪の父 關一の偉業**

●しびるWalker  
時代を駆け巡る 古都・奈良

●ランドマーク  
ラグビーワールドカップ2019™で  
高校ラグビーの「聖地」を  
世界に発信！

●トピックス／歴史のある風景



# 歴史のある風景

## 信貴山信仰のシンボル

〜開運橋〜 奈良県生駒郡三郷町

信貴山は、聖徳太子がこの山を「信ずべき、貴ぶべき山」として名付け、毘沙門天を祀るための寺院を創建したのが起源とされている。

信貴山参詣はもともと奈良側からのアプローチが主流であったが、昭和5年、信貴山電鉄が信貴山口駅より高安山駅までの鋼索線(ケーブルカー)を開業。

主流が大阪側から移ったため、大門池を渡る橋が必要になり、開運橋建設のきっかけとなった。

信貴山中にひととき目立つ赤い鉄橋は、

信貴山参詣の朝護孫子寺に向かう大門池に架かる全長106mの「上路カンチレバー・トラス橋」で、1931年(昭和6年)に竣工。

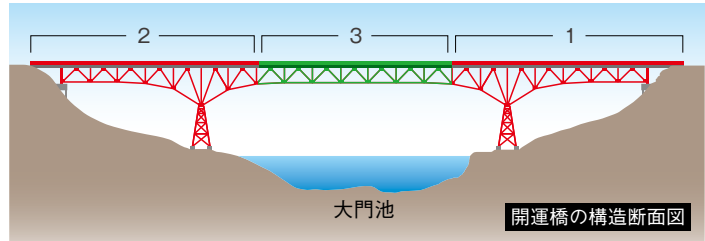
ドイツ人ゲルバーの考案によるもので、「ゲルバー橋」とも呼ばれる。片持ち梁の構造形式を持ち、

支点と支点の間(支間)の桁を支える構造の橋で、地盤の弱い日本では以前からこのカンチレバー橋が広く用いられていた。

通行部分が橋桁部より上面にある上路カンチレバーは珍しく、

脚がトラス構造になったトレススル橋脚も大変貴重な存在。開運橋は現存する最も古い「上路カンチレバー橋」として、

2007年、国の登録文化財に指定・保存されている。



3つのパーツに支えられた構造からなるトラス橋(桁部分に三角構造を使用した橋桁)がカンチレバー橋。3は1・2の支持により支柱が不要な構造になっている。



橋桁の上面を人が通行する



橋脚がトラス構造になったトレススル橋



信貴山の緑に赤が美しく映える開運橋の全景